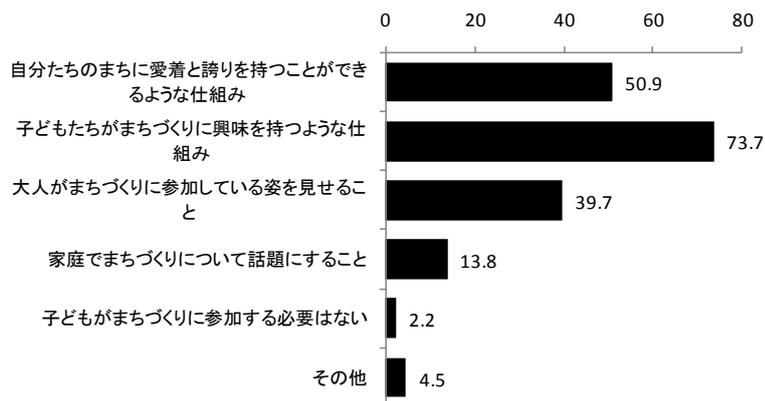


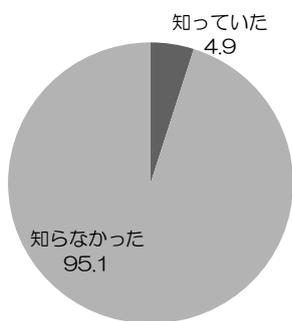
3. 子どもたちのまちづくり参加に必要なこと（複数回答）



「子どもたちがまちづくりに興味を持つような仕組み」が最も多く（73.7%）、次いで「自分たちのまちに愛着と誇りを持つことができるような仕組み」（50.9%）、「大人がまちづくりに参加している姿を見せること」（39.7%）となりました。



4. 自治基本条例を市民の会が検討していることの認知度（単数回答）

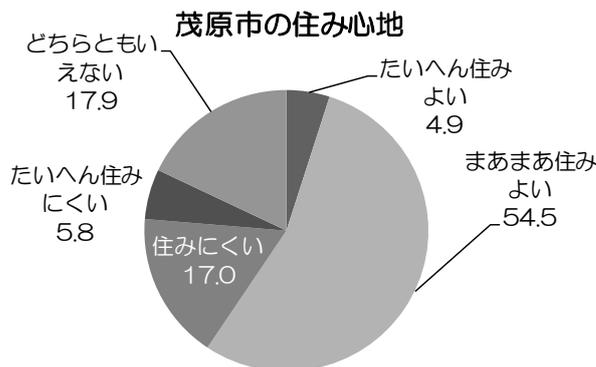


市民参加のまちづくりの基本的なルールである「自治基本条例」について、公募による市民委員 30 名で構成される「市民の会」が検討していることを、95.1%の方が「知らなかった」と回答しました。

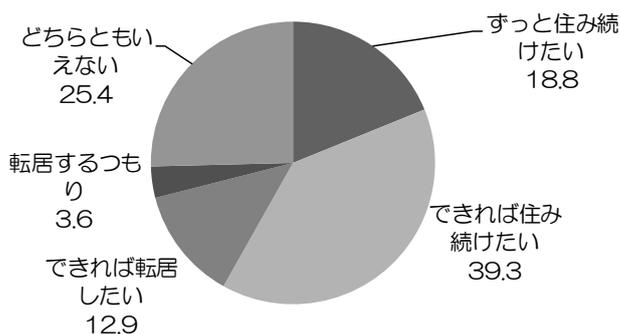
5. 茂原市の住み心地、定住意向（単数回答）

「たいへん住みよい」「まあまあ住みよい」と回答した方が合わせて 59.4%いたのに対し、「住みにくい」「たいへん住みにくい」と回答した方が合わせて 22.8%に上りました。

また、「ずっと住み続けたい」「できれば住み続けたい」と回答した方が合わせて 58.1%いたのに対し、「できれば転居したい」「転居するつもり」と回答した方が合わせて 16.5%に上りました。



茂原市での定住意向



茂原市自治基本条例を考える市民の会
事務局 茂原市役所企画政策課



ケータイからもお寄せいただけます

FAX 0475-20-1603

E-mail kikaku@city.mobara.chiba.jp

★子ども医療費助成の問題について★

自由記述欄で、多くの方から「子ども医療費助成制度」の問題（年齢制限、所得制限等）が寄せられました。助成の手厚い自治体へ移住してしまう例もあります。

人口減少を迎えた茂原市で、市民全体の問題としてこのことを考えるには、どうしたらいいのでしょうか？

一つには、**市民・議会・市などのまちづくりの担い手が、情報を共有し、自由に参加し、課題について話し合い、共通の目的を持って協働する**必要があります。

そのためのルールが「まちづくり条例」であると考えています。

ご協力ありがとうございました

お寄せいただいたご意見につきましては、今後の「まちづくり条例」を検討する上で、貴重な資料として活用させていただきます。

